

予算審査特別委員会

＝審議を尽くした2日間＝

新年度予算は議員全員で構成する予算審査特別委員会（東海林委員長）に付託され3月14・15日の2日間で審査されました。

一般会計

■議会費（歳出）

Q 岩倉委員

ここ数年、議員報酬や議員定数の削減により、二千万円ほどの歳費を削減しているが、この財源を基金へ積み立てるなどして活用することはできないか。

A 門脇財政課長

予算の範囲内で積み立てることはできるが、基金の設置はその目的等が明確でなければならぬため、議会内でも十分検討いただき、その結論を得て協議して進めることがベストと考える。



■総務費（歳出）

Q 岩倉委員

①東北地震を目的の当たりしに、海岸線に位置する当町の防災マニュアルを再検討することは大変必要なことであるが、災害時に現体制下（町長・鬼鹿在住、副町長・達布在住）で危機管理に対する指揮系統がスムーズに進められるのか。

②震災支援について議会としても考えているが、町として被災者に対する支援の考えはあるか。

A 関町長

①ライフラインが遮断され、指揮系統が全く取れなくなるのが最も危惧されること。早速、危機管理の問題について内部で協議したが、その対応策を早急に構築し、報告したい。また、災害弱者の保護をどのようにするかを最重要課題と捉え、地域住民が一体となった危機管理が必要だと考えている。

か説明を求める。

A 杉本企画室長

行政事務に関する電算システム経費の抑制を図るため、留萌市を除く管内7町村のシステム基盤を統一させようというのが基本的な考え。事業の進捗については町長・副町長を主体とする会議で報告されているが、議会等に対しては行っていないため、今後、随時報告したい。

■農林水産業費（歳出）

Q 山内委員

「ゆうゆうそう」宿泊部門を冬期間閉鎖する効果をどう捉えているか。

A 村井経済課長

人件費や宿泊に係る洗濯代等で100万円程の経費節減を見込んでいる。

Q 山内委員

留萌地域電算共同化推進協議会負担金について、この事業の身や成果の報告等がなく、一体どのように進められているのか。

Q 藤田委員

①「産業まつり」開催補助金について、今年度100万円を増加した考え方は、

②漁業近代化資金で、今回被災された地域へはホタテの半生貝を一億五千万程出荷しているところであるが、漁業者の売上げ減少が想定され、この資金の借り換えや期間延長といった対応策を講じる考えはあるか。

A 村井経済課長

①町の一大イベントとして歌謡ショー等のステージをメインに集客を図り、高齢者のための運行バスも検討している。

体的な相談はまだないが、相談があった時点で支援の方策を検討したい。

Q 岩倉委員

①農業振興について、前町長は肉牛振興を最重点課題と位置づけていたが、関町長の農業行政に対する最重点課題を伺う。

A 関町長

①目まぐるしく変わる農業行政の中で、担い手問題や個別所得補償制度等、関係者と色々お話をさせていただいているが、第一に米の低温貯蔵施設に対する支援を早く行いたい。そして何と云っても、TPPは町のトップとして農業を守るため断固反対し、体を張って絶対に阻止しなければならぬ。

②新星マリン漁協から具



②農業を目指す子供たち